環境活動レポート

（対象期間:2019 年 6 月～2020 年 5 月）

丸順商事有限会社

発行日:2020 年 7 月 27 日

1. 組織の概要

名称及び代表者名

丸順商事有限会社

代表取締役　矢部　要

所在地

本社事業所：東京都羽村市富士見平 2-1-14

瑞穂車庫　：東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 1307-4

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：取締役　栗原　津巳　　E-mail: t-kurihara@marujun-shoji.co.jp

担当者：取締役　木下　妙子　　E-mail: k-taeko@marujun-shoji.co.jp

連絡先：042-554-2229（TEL）

042-554-7889（FAX）

事業内容

1）一般廃棄物・産業廃棄物及び特定家庭用機器廃棄物の収集運搬業務

2）一般廃棄物中間処理業（ふとん類）・浄化槽清掃業

事業の規模

・一般廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日
青梅市	25 号	令和 2 年 3 月 17 日	令和 4 年 3 月 31 日
福生市	3107 号	令和元年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 15 日
瑞穂町	11-17 号	令和 2 年 3 月 5 日	令和 4 年 3 月 14 日
昭島市	243 号	令和 2 年 3 月 2 日	令和 4 年 3 月 31 日
武蔵村山市	13 号	令和 2 年 1 月 20 日	令和 4 年 1 月 19 日
入間市	31 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・一般廃棄物処分業（中間処理）

許可範囲・品目	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市（ふとん類）	2 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・浄化槽清掃業（収集・運搬）

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・産業廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号・許可年月日・有効年月日	許可品目
東京都	第 13-10-032171 号 平成 27 年 8 月 4 日 有効：令和 2 年 8 月 3 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上 11 種類）
神奈川県	第 01406032171 号 平成 30 年 11 月 28 日 有効：令和 5 年 9 月 10 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
埼玉県	第 01102032171 号 平成 27 年 11 月 18 日 有効：令和 2 年 11 月 8 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
山梨県	第 01900032171 号 平成 29 年 7 月 3 日 有効：令和 4 年 7 月 2 日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 7 種類）

・収集運搬車両及び営業車両

形式	積載重量	燃料	保有台数
塵芥車	3 t	ディーゼル	7 台
ダンプ車	2 t	ディーゼル	1 台
平ボデー車 (ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ)	4 t	ディーゼル	1 台
	3 t	ディーゼル	1 台
	2 t	ディーゼル	4 台
	0.35 t	ガソリン	1 台
バン	2 t	ディーゼル	1 台
脱着装置付コンテナ専用車	4 t	ディーゼル	3 台
	3 t	ディーゼル	1 台
糞尿車	3 t	ディーゼル	1 台
粉粒体運搬車	10 t	ディーゼル	1 台
営業車	--	ガソリン	4 台
合　　計			26 台

・収集運搬及び処理量　（2019 年 6 月～2020 年 5 月）

一般廃棄物　：　1,603 t

産業廃棄物　：　3,712 t

浄化槽汚泥　：　479 t

廃家電類　：　1,023 台（テレビ 400 台・冷蔵庫 266 台・洗濯機 255 台・エアコン 102 台）

ふとん類の処理：　31 t

・売上額（2019 年 6 月～2020 年 5 月）

40,058 万円

・設立年月日

昭和 42 年 11 月 1 日

・資本金

3,000 万円

・従 業 員 数

29 名

・積替え保管施設

本社：積替保管面積：498 ㎡　　上限量 8.0 ㎥

・一般廃棄物 中間処分（本社）

種　類：ふとん類

処分方法：ふとんを裁断してシーツと綿に分離する

処理能力：0.2 t ／日

・事業年度

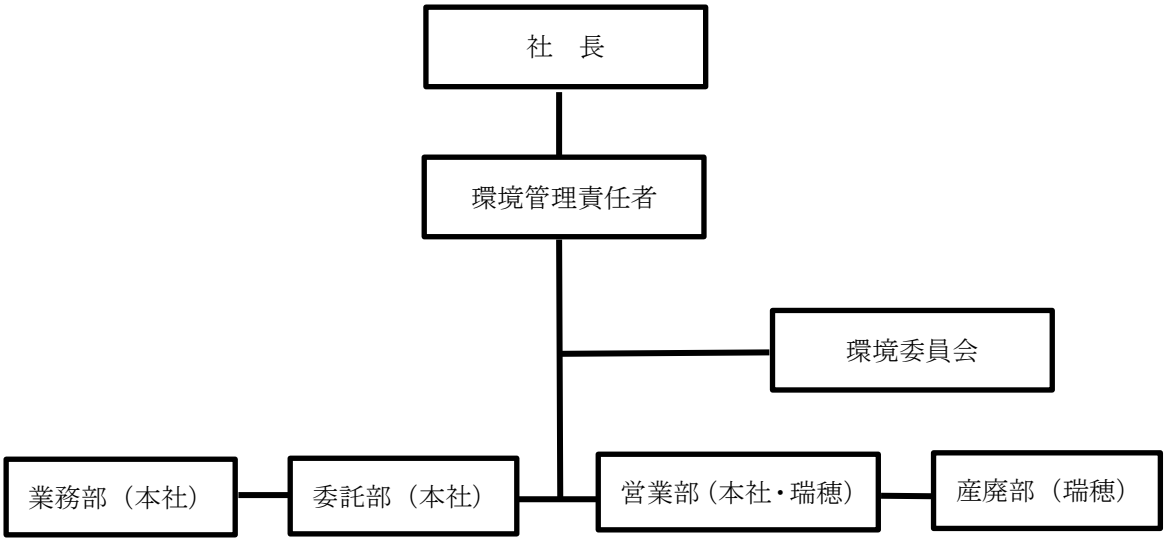
6 月 1 日～5 月 31 日

・化学物質の取扱いはありません

２．対象範囲

登録組織名　：　丸順商事有限会社
関連事業所　：　瑞穂車庫

丸順商事有限会社 環境システム組織図



役割と権限

代表者（社長）	・環境方針を策定する。 ・EA21 の実行に必要な資源（人、物、金）を用意する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・EA21 の全体的な取組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。
環境管理責任者	・環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする ・環境経営システムの構築･運用状況を社長に報告する。
環境委員会	・環境マネジメントに関する全社で検討する場とする。社長を議長とし、毎月開催する。メンバーは社長、環境管理責任者、環境事務局及び各部門長とし、必要に応じて社長及び環境管理責任者が指名したものとする。環境委員会は職長会と兼ねて実施する。
部門長	・各部門の環境目標、活動計画を策定、各部門の環境マネジメントシステムの実行の総括、各部門の固有の役割を持つ。
全従業員	・環境目標、活動計画の実施。 ・環境に関する責任あるやり方で業務の実施。 ・問題があつた場合、部門責任者へ報告。

３．環境方針

｛ 基本理念 ｝

丸順商事有限会社は、廃棄物収集運搬業(一般・産業)・資源物(有価物)収集運搬業を通して、環境・安全を第一に考え、この美しい自然と歴史を次世代へ継承する環境保全活動に取り組みます。

｛ 行動指針 ｝

１．当社事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

①電力・収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
②節水の徹底
③自社廃棄物の減量
④環境に配慮した事務用品、消耗品の購入
⑤地元地域・所属組織等の環境活動への積極的な参加
⑥顧客サービスの向上

上記について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

３．この環境方針は全従業員に周知する。

制定日：2013 年 1 月 11 日

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

４．環境目標と実績

2019 年～2021 年度の目標

環境目標項目	単位	2018年度 実績(基準)	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
電力の使用量削減 （太陽光使用量）	（kWh）	15049 （3670）	14,898 （1%削減）	14,748 （2%削減）	14,597 （3%削減）
ガソリン使用の削減	（L）	4,434	4,412 （0.5%削減）	4,390 （1%削減）	4,367 （1.5%削減）
軽油1Lあたりの売上増大 注1）	（L）	（51,835）			
	（円）	7,452	7,601 （2%UP）	7,676 （3%UP）	7,824 （5%UP）
灯油使用の削減	（L）	940	930 （1%削減）	921 （2%削減）	912 （3%削減）
総CO_2排出量	（kg-CO_2）	154,457	152,912 （1%削減）	151,368 （2%削減）	149,823 （3%削減）
水使用量の削減	（㎥）	321	318 （1%削減）	314 （2%削減）	311 （3%削減）
自社廃棄物の削減	（kg）	2,051	2,030 （1%削減）	2,010 （2%削減）	1,989 （3%削減）
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	多品目購入
地域活動への 取組、参加	回数	11	12 （1回増）	13 （2回増）	14 （3回増）
新規顧客の拡大	件	25	30 （5件増）	35 （10件増）	40 （15件増）
回収漏れ件数の削減	件	52	42 （10件削減）	41 （11件削減）	40 （12件削減）

＊ 2018年度＝2018年6月～2019年5月

＊2017年度　東京電力排出係数（0.474kg-CO2/kWh）使用

＊赤字は目標変更したもの

注1）　軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

2019 年度の実績

環境目標項目	単位	2018年度 実績（基準）	2019年度 目標	2019年度 実績	達成率	判定
電力の使用量削減 （太陽光使用量）	（kWh）	15049 （3670）	14,898 （1%削減）	15,738	94.7%	×
ガソリン使用の削減	（L）	4,434	4,412 （0.5%削減）	3,167	139.3%	◎
軽油1Lあたりの売上増大 注1）	（L）	（51,835）		51,741	101.8%	○
	（円）	7,452	7,601 （2%UP）	7,742		
灯油使用の削減	（L）	940	930 （1%削減）	874	106.4%	○
総CO_2排出量	（kg-CO_2）	154,457	152,912 （1%削減）	151,495	100.9%	○
水使用量の削減	（㎥）	321	318 （1%削減）	331	96.1%	△
自社廃棄物の削減	（kg）	2,051	2,030 （1%削減）	1,915	106.0%	○
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	--	○
地域活動への 取組、参加	回数	11	12 （1回増）	10	83.3%	×
新規顧客の拡大	件	25	30 （5件増）	33	110.0%	◎
回収漏れ件数の削減	件	52	42 （10件削減）	47	89.4%	×

＊ 2018年度＝2018年6月～2019年5月

＊ 判定： ◎=110%以上の達成、 ○＝目標達成 △＝95%以内 ×＝95%未満

＊2017年度 東京電力調整後排出係数（0.474kg-CO2/kWh）使用

注1） 軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

５．環境活動計画の取組結果とその評価

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価
電力使用量の削減	エアコンの適正温度管理を実施する（冷房28℃・暖房20℃）	○	今年度もエアコンの温度管理・フィルター清掃等を前期同様、徹底して行いました。（全部署） 不在する際の電気消灯も、徹底されてました。 事務所内の遮光対策（よしずを設置）も実施されていました。 事務所でしようしているPCも省エネモードにて実施。 クールビスについても5月から10月まで実施（営業、事務員はポロシャツにて仕事をしている） 節電に対する作業者意識は非常に高く、今後も同様に徹底して行きたい。
	定期的にフィルター清掃実施する	○	
	不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する	○	
	稼動していない機械電源OFFの徹底	○	
	パソコンOA機器等、省エネモードに切り替え実施する	○	
	クールビズの徹底。（5月～10月）	○	
	ブラインドの調整による日射の遮断及び自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する	○	
燃料（ｶﾞｿﾘﾝ、軽油）の使用量削減	アイドリングストップ実施する	○	アイドリングストップ等は日々の朝礼などで全運転者に徹底させており、実施もされています。 営業車においても効率良く客先廻りができエコドライブを徹底されていました。 全車にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているため、その解析結果に基づいてドライバーに指導しています。 配車についても適切に行われていました。
	急発進、急停止、しない運転を実施する	○	
	不要な荷物は積まない	○	
	適切な配車を行い、無駄な動きを行わない	○	
灯油使用量の削減	室内温度16℃から20℃を目安として、温度管理を実施する	○	冬場は石油ﾌｧﾝﾋｰﾀを使用していますが、温度調整は徹底されていました。事務所内もできる限り日差しを取り入れるよう、心がけていました。 事務員はひざ掛け等を心掛け、ウォームビズは徹底されていました。
	不在時の消火の徹底管理	○	
	ウォームビズの徹底（12月～3月）	○	
水使用量の削減	水漏れの定期確認。（水道水の栓を確認）	○	節水用のホースノズル等の使用を心掛けており無駄な水を使用しない様、徹底されていました。 作業者の節水意識が高くなってきた。
	洗車時の節水（節水シャワーの使用等）	○	
	台所及びトイレ使用に対しての水管理を徹底を実施する	○	
自社排出廃棄物の削減	廃棄していた紙類を資源とする	○	紙類の再利用、シュレッター化（事務所）は前期同様、徹底されていました。 事務所は、できる限りﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化を心掛けていました。
	外出先で発生させたごみ（ｺﾝﾋﾞﾆ等）を社内に持ち込まない	○	
	機密書類はシュレッダーにかける	○	
	ダンボールなど繰り返し再利用する	○	

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価
グリーン購入の促進	エコマーク認定品の購入に努めます	○	事務用品を購入する際には、ｴｺﾏｰｸのついたものを購入しています。
地域活動への取組・参加	会社周辺清掃を定期的に実施する	×	会社周辺清掃は思うように実施できませんでした。（人員不足の為） 次期は計画を組んで実施できる様心掛けたい。 地元のイベントには積極的に参加できている。
	地元主催の催し物の参加	○	
新規顧客の拡大	現顧客に出向きお知り合いの事業所を紹介して頂き契約に結びつける	△	前期は営業が現場を手伝う機会が多かったので、定期的な顧客訪問が出来ていなかった。 後期（3月～）は感染防止対策の為営業活動を停止した。 会社への問い合わせは多く、契約が多くできた。
	会社へ問い合わせがあった新規顧客へ訪問し、契約に結びつける	○	
回収漏れ件数の削減	戸別収集時に急がず、1件ずつ確認しながら回収を行う	×	今年度は人員の入れ替えが多かった為、結果的に回収漏れが増加してしまった。慣れた作業者がしっかりと指導して改善していきたい。

＊　実施状況の評価基準　：　○＝出来ている　、　△＝ある程度出来ているがもう少し　、　×＝出来ていない

地域活動及び会社周辺清掃状況

1） カーブミラー清掃（2019 年 6 月実施）

羽村市内に設置されているカーブミラーの清掃を羽村市建設防災協力会主催で実施。
当社からは今年も 1 名（矢部）参加しました。

2）羽村市マナーアップキャンペーン　（2019 年 7 月実施）

羽村駅前でタバコ等のポイ捨て禁止キャンペーンを実施。
駅前周辺清掃及びポイ捨て禁止アピール（ティッシュ配り）を行った。
当社からは、2 名（矢部・成田）参加　【羽村市長も積極的に参加した】

3）羽村市防災訓練（2019 年 9 月実施）

羽村市主催の防災訓練に羽村市建設防災協力会として参加。

倒木撤去、土砂撤去作業の訓練を行った。

4）交通事故撲滅キャンペーン（2019 年 9 月実施）

東京都トラック協会多摩支部第３地区主催で交通事故撲滅キャンペーンを実施、福生駅前においてティッシュ配り等を行った。

5）羽村市産業祭（2019 年 11 月 2 日、3 日実施）

塵芥車を展示、市民（特に子供たち）を車両に乗車させ、楽しんでもらう。

また、会社の営業（遺品整理等の廃棄処理）もアピールしています。

会場内においてマナーアップキャンペーン（羽村市主催）も実施、当社からも２名参加しました。

6）会社周辺清掃

主に祝日を利用して本社は会社周辺の道路及び近くの公園内のごみ拾い、瑞穂車庫は会社前道路のごみ拾いを実施。

本社前付近の道路のごみ拾い（3 回実施）

瑞穂車庫周辺道路のごみ拾い（2 回実施）

６．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規	適合性
廃掃法施行令	適合
東京都暴力団排除条例	適合
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	適合
消防法施行令	適合
自動車 NOx 法・PM 法	適合
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	適合
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法	適合
フロン排出抑制法	適合
道路運送車両法	適合
道路交通法	適合
貨物自動車運送事業法	適合
使用済自動車の再資源化等に関する法律	適合
市条例（羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・昭島市・武蔵村山市・入間市）	適合

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。訴訟についてもありません。

７．代表者による全体評価と見直しの結果

【全体の取組状況及び評価結果】

№.	項　目	評価結果
1	環境関連法規制等一覧表及び遵守状況のチェック結果	異常なし 変更もなし
2	環境目標の達成度	**『電気使用量の削減』** 上半期は節電対策をしていましたが猛暑のため、目標達成できませんでした。下半期は、売上増で残業が増加、またコロナの影響で事務所にいる時間が長かったので達成できませんでした。 **『ガソリン使用量の削減』** 主に営業車に使用していますが上期は現場作業者の削減で営業担当が現場を手伝う事が多かった。下期はコロナの影響で営業活動が思うように出来なかったが結果的に大幅な削減となった。 **『軽油 1L あたりの売上増大』** 今期は売上が増加しましたが、軽油使用量が削減した為、目標達成できた。作業者の効率の良い走行、アイドリングストップ等のエコドライブ意識が年々高まってきた為と思われる。 **『灯油使用量の削減』** ファンヒータの買い替え、ひざ掛け使用などで使用量が抑えられた。 **『水使用量の削減』** 夏場の使用が多かった為、節水徹底をしていましたがわずかに達成できませんでした。 **『自社廃棄物の削減』** 事務所は紙の再利用の徹底、現場は分別徹底を行った成果がでたと思います。 **『グリーン購入促進』** エコマークの用品を率先して購入するよう心掛けている。 **『地域活動への参加・会社周辺清掃』** 上期は会社周辺清掃ができていなかったので対策を講じましたが年間目標は未達になってしまった。 **『新規顧客の拡大』** 思うように訪問は出来なかったが目標は達成できた。 **『回収漏れ件数の削減』** 上期に多く発生してしまいましたが、対策は実施しています。

3	環境活動計画の実施状況	各従業員が環境に関する意識が高まり、実施については良好と判断致します。
4	問題点の是正・予防処置の状況	2 件あげましたが、達成できなかった項目の原因は全て対策致しました。
5	外部からの苦情の有無	2 件ありましたがすぐに対応・改善を行いました。再発の無いように全従業員に徹底。
6	緊急事態の訓練結果	本社現場・瑞穂：9 月 23 日実施。 本社事務所：9 月 25 日実施　特に問題なし。
7	経営状況の変更	無し

【変更の必要性の有無】

№.	項　目	変更の必要性
1	環境方針	無し
2	環境目標	無し
3	環境活動計画	無し
4	環境経営システム	無し

【代表者による全体の評価】

今年度より環境目標を一部変更（顧客へのリサイクル提案⇒新規顧客の拡大）しましたが、担当部門が一生懸命当社のアピールをした成果により目標達成できたと思います。

継続して実施している項目についても、電気・ガソリン・軽油・灯油・水等の使用量は、作業者のエコ活動の意識が年々高まってきているおかげで抑えることができていると思います。

地域活動への参加は積極的に行っており、会社アピールもできているかと思いますが、会社周辺清掃が思うようにできていなかった。当社の仕事は市民サービスを重きにおいているので特に会社周辺の清掃活動は積極的に行ってもらいたい。

2019 年度を振り返ると夏場は記録的な猛暑であった。また台風も多く発生し大雨が降りました。冬場には新型コロナウイルス（COVID-19）が世界中で猛威を振るい現在においても感染拡大が収束していません。弊社はエッセンシャルワーカー（人々が日常生活をおくる上で欠かせない仕事を担っている人）にも該当しており、一般廃棄物収集運搬委託業務は継続しなくてはならない業務であります。その中でも全従業員において、大きな事故・怪我・病気もなく作業ができたと思います。

2020 年度も厳しい状況下の中での作業となりますが、全従業員一丸となって頑張っていきたいと思います。